

令和元年秋に千葉県では台風及び豪雨の被害により避難所生活を余儀なくされた地域が発生しました。

災害時のトイレは、避難所生活をおくる上で、水や食料の確保と同じく重要な課題です。

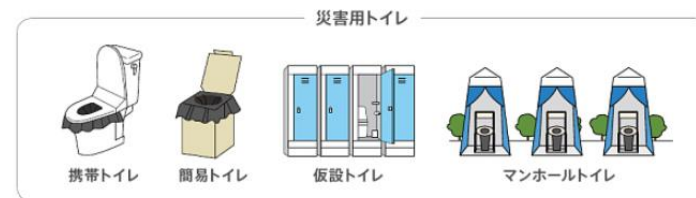


トイレは我慢に限界があります

災害時、人命救助が最優先となりますが、救助後すぐにトイレの問題がやってきます。空腹は半日～1日我慢できても、トイレは我慢に限界があります。

トイレの衛生環境悪化は健康障害や災害関連死などに繋がる危険性があります

- ▶ トイレに行くこと自体の心理的ストレスから水分や食事を控えることによるエコノミークラス症候群などの危険性。
- ▶ トイレの清掃が行き届かないための不衛生状態による感染症の危険性。



災害用トイレは様々ありますがそれぞれメリット・デメリットがございます。

LIXILでは災害時だからこそ皆様がいつも通りに使える新しい発想のトイレをご提案致します。

《ご提案商品：レジリエンストイレ》

水洗トイレに強制開閉弁を採用。洗浄ハンドルの操作で開閉弁を強制的に開閉します。
平常時は5Lの水洗トイレとして使用でき、断水時には1Lの洗浄水で汚物を配管に排出します。
開閉弁と溜水の二重防臭構造で嫌なニオイを防ぎます。

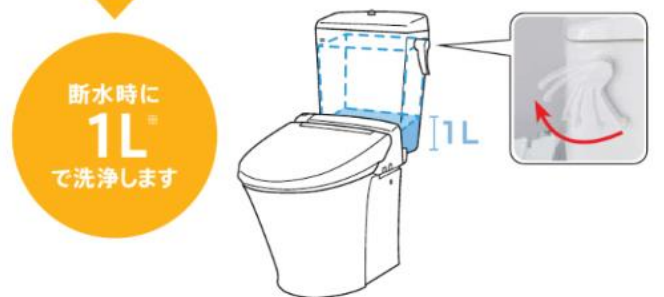
平常時は…

平常時は水洗トイレとして使用でき、シャワートイレも設置可能。
洗浄水量は5Lです。
清掃性や安全性にも配慮しています。



災害で断水が起きたら…

断水時には洗浄水量を5Lから1Lに切り替えて使います。
使い慣れたトイレを使用するため安心です。
断水時でも汚物を水で洗い流すため衛生的です。



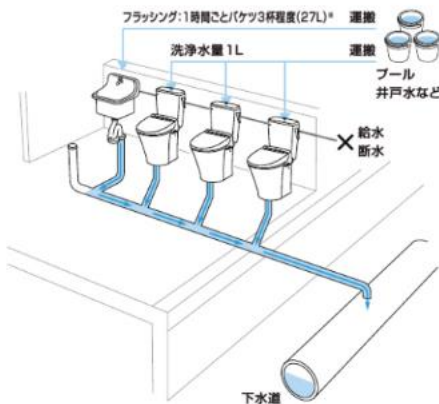
レジリエンス
トイレ



※ 洗浄ハンドルの操作時間が約1秒の場合。操作方法により実際の使用水量は変化します。

1Lの洗浄に切り替えます。

《設置方式・構造》

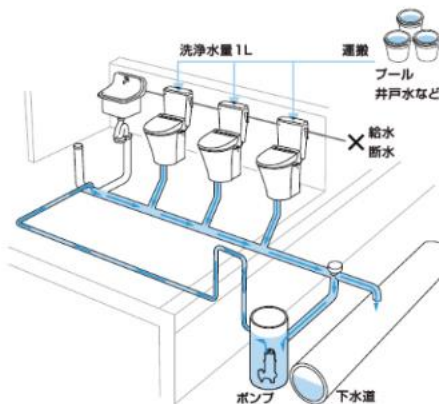


手動給水方式

最上流側の便器・掃除流しなどからバケツなどを使って、1時間ごとにバケツ3杯程度(27L)*の洗浄水を流すことで排水横主管内に滞留した汚物を下水道まで搬送する方式です。

*トイレの使用回数は36回/時。バケツ1杯9Lの場合。

▶手動給水方式を動画チェック



汚水循環方式

汚水循環により排水横主管内に滞留した汚物を下水道まで流す方式です。汚水が排水横主管内に循環し、汚物をフラッシング。オーバーフロー分は下水道に搬送されます。

▶汚水循環方式を動画チェック



《設置イメージ》

見た目は通常の水洗トイレと同じです。



清掃性

フチレス形状



便器のフチを丸ごとなくし、サッとひと拭き、お掃除ラクラクです。

清掃しやすい形状



凹凸のない形状とサイドカバーでツルッとひと拭きできます。お手入れ簡単です。

ご採用にあたって

断水時の1L洗浄では汚物が排水横主管内に滞留し、下水道まで搬送できません。そのため、手動給水方式、または汚水循環方式での搬送が必要です。詳細な配管設計条件などをまとめた配管設計手引きを用意しています。ご採用前に必ずご確認ください。

配管設計条件を満たさない場合、レジリエンストイレをご採用いただけない場合があります。

平常時でも断水時でも皆様に快適に安心してお使い頂けのが
“LIXILレジリエンストイレ”です。

お問い合わせ先

担当者名 篠崎 岳彦 .

部署 関東営業ブロック野丁場推進G .

連絡先 TEL 043-331-1710 FAX 043-331-1709 .

メールアドレス takehiko.shinozaki@lixil.com .



問い合わせ先 公益社団法人 建築家協会関東甲信越支部 千葉地域会

Tel.043-225-7881 Fax.043-227-7867